

平成25年度一般社団法人和歌山市消防協会事業計画書

消防及び防災に関する知識の普及及び啓発、調査及び研究、講習会の開催等を行うことにより、防火管理体制及び防災管理体制の強化の促進を図るとともに、災害に強い街づくりを目指し、もって社会公共の安全及び福祉の向上に寄与することを目的として次の事業を行う。

(1) 和歌山市消防局防災学習センター運営事業

- ア 和歌山市消防局防災学習センターの運営に係る業務について、平成25年4月から平成26年3月までの1年間、引き続き受託者として、同センターの運営にあたり施設の見学案内を行う。
- イ 地震体験車に係る業務については、防災学習センター見学案内の一環として、来館者が模擬地震を体験することにより、防災意識の高揚及び防災に対する知識の向上を図る。
- ウ 来館者が10万人に達するため、記念イベントを開催すると共に土、日、祝日の来館者に記念品を贈呈し、来館者アップを図る。

(2) 防災教育事業

- ア 『子どもなかよしまつり&和歌山音楽大行進』への参加において、会場に地震体験車を派遣し、地震時の行動力を身につけることができるよう指導する。
- イ 和歌山市消防局内において、市民の防火・防災に対する意識の向上を図るため、防火防災絵画展を開催する。
- ウ 和歌山市消防局防災学習センター及び消防局の施設を利用し、親子で楽しみながら火災予防意識の向上と災害時の行動力を身につけることができるように、夏休み防火防災スクールを開催する。
- エ 市民をはじめ市内の各種団体及び会員事業所を対象に防火・防災等出前講座を開催し、地震、津波、火災、その他救急に関する対策や対処方法等を指導する。
- オ 会員事業所を対象に防火・防災に関するDVDの貸出しを行う。

(3) 防火防災広報等事業

- ア 春と秋、年末の火災予防運動において、防火防災意識啓発広報物を作成し、和歌山市消防局と共催で配布する。
- イ 「春と秋、年末の火災予防運動」「救急の日」「防災の日」「紀州おどり」等において、テレビ、ラジオ、電光掲示板などの広報媒体を通じて防火防災意識の向上を図る。
- ウ 和歌浦ベイマラソン With ジャズ大会に協賛し、防火防災啓発旗の設置により参加者及び来場者に防火防災に対する普及啓発を行う。
- エ 会員事業所等に「消防協会だより」を年2回発行し、配布する。

(4) 講習事業

平成25年度一般社団法人和歌山市消防協会事業計画書

- ア 防火管理者、防災管理者等を対象とした、甲種防火管理新規・再講習、防災管理新規講習を実施する。
 - イ 患者搬送にかかる乗務員を対象とした、患者等搬送乗務員基礎・定期講習を実施する。
 - ウ 市民をはじめ市内の事業所を対象とした、普通・上級救命講習、応急手当普及員養成・再講習を実施する。
 - エ 上記講習にともなう各種講習テキスト及び患者等搬送用自動車シールの販売を行う。
- (5) 防火防災用品等普及事業
- ア 住宅用火災警報器及び非常持出品等の災害発生時に必要な防災用品の普及促進を図る。
 - イ 消防図書等の書籍の販売を行う。
- (6) 市民防災大学講座開催事業
- 地域防災リーダー養成講座と公開講座について、和歌山市（総合防災課）から委託を受け、企画、立案及び会場運営、アンケート、報告等の業務を実施する。
- (7) 5団体に関する事業
- 和歌山市危険物防火研究会、和歌山市防火管理者連絡協議会、和歌山市防火管理者連絡協議会各支部、和歌山市 LP ガス防火研究会、和歌山市消防交友会の経理業務について、平成23年6月から委託を受け、引き続き同団体の業務を行う。
- (8) その他和歌山市消防協会の設立目的を達成するために必要な事業
- ア 防火協力団体や各種研究会への支援を行う。
 - イ 大規模災害に関する事案調査及び協会充実に関する調査等の調査研究視察を必要に応じて実施する。
 - ウ 消防職・団員に対して、優良表彰を行う。